

21 横堀地区 【水土里ネット湯沢中央】

水土里の出前授業（役内川の水を調べよう）

当水土里ネットでは「農業農村と農業施設の多面的機能」、「先人の偉業」、「施設巡り」、「生き物調査」、「水を調べよう」など農業農村や環境の大切さについて理解を深めるような授業を、次代を担う子どもたちに「水土里の出前授業」として市内の小学校で開催しています。水土里ネット職員が主体となり、田んぼや農業水利施設の果たす役割などについて、質問形式を混ぜ、パソコンを使ったり、現地見学など飽きのこない学習内容を工夫しています。

雄勝地区の授業では、「役内川に関すること」として川の水の成分を調べて、その水が地域にどのような水の配分をしてみんなの田んぼに流れているか、そして学校付近ではどのような成分に変わってきているのかなど、現地の施設を廻り、その場で質問を受けながら、水の大切さを感じてもらっています。



| 活動体制 | |
|--------|--|
| 実施主体 | 水土里ネット湯沢中央（湯沢市中央土地改良区） |
| 後援・連携 | 秋田県雄勝地域振興局農村整備課、湯沢市 |
| 実施期間 | 11月16日 |
| 参加者 | 横堀小学校3年生18名（生徒先生 16名） |
| 報道関連 | 特になし |
| 活動実施年数 | 10年 |
| 連絡先 | 〒012-0862 湯沢市関口字道地26 湯沢市中央土地改良区 TEL.0183-78-0670 |
| その他 | 東北地方大賞奨励賞（H17・18）、県奨励賞（H17・18）、県知事賞（H20） |

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット湯沢中央（最上 保男）

| ○活動の目標及び達成率 | 目標 | 川・水が地域資源として大切で、それらが持つ多面的機能を再発見し関心を高めてもらう。 | | | |
|---------------|--|---|--|-----------|---------------------------------|
| | 達成率 | 90% | | | |
| ○活動に対する評価 | ・人々に大切に護られてきた自然資産(川・水)やふるさとに対する思い等、さらに地域への関心が高まった。 | | | | |
| 判定基準 | 自己判定（達成度） | | 判定基準 | 自己判定（達成度） | |
| | 判定 | 評価等 | | 判定 | 評価等 |
| 1. 取組体制について | | | ④運動のPR | B | 活動後にHPに記載 |
| ①役職員・組合員の参加 | A | 積極的に参加している | 4. 運動の成果 | | |
| ②後継者育成の工夫 | A | 小学校との連携体制が整っている | ①他組織との連携構築 | B | 農地・水保全管理活動組織との連携 |
| 2. 活動の意欲性について | | | ②地域住民等の理解 | A | 子供達から親や祖父母に伝わっている |
| ①基本理念の設定 | A | 小学校の授業の一部として取り組んでいる | ③施設管理・地域資源の保全強化 | B | 農地・水保全管理活動組織との連携により強化されている |
| ②地域の歴史等の伝承 | A | 水路の役割等勉強している | ④運動の地域づくりへの関わり | A | 農地・水保全管理活動組織との連携により関わりが大きくなっている |
| ③運動の先駆性 | B | 今後の検討課題 | ⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献 | A | 農地・水保全管理活動組織との連携により効果は大きい |
| 3. 運動の継続性・発展性 | | | ⑥地域農業振興への貢献 | B | 将来の担い手育成の一助となっている |
| ①運動の継続性 | A | 数年継続している | 5. 今後の課題等について ・小さな運動でいいので、身の丈あった無理のない運動を継続できれば。 | | |
| ②運動の発展・拡大 | B | 4年生を対象としており、今後の検討課題としては農地・水保全管理活動組織との連携 | | | |
| ③運動の計画性 | A | 毎年度行っている | | | |

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他